## 1 安全に関する注意事項

この取扱説明書は、ヒットエアーエアバッグシステムを、安全かつ適切にご利用頂くために、必ずお読みください。
また、いつでも読めるように、大切に保管してください。

取扱説明書で使われるマークは、次の状況を意味します。

**警告** ⚠ **この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

注意 ⚠ **この表示を無視して誤った取扱をすると、人が外傷を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

警告 ⚠ **1.ヒットエアーは、乗馬の際に使用するもので、救命衣等、他の利用は出来ません。**

警告 ⚠ **2.ヒットエアーは必ず、上衣として、サイズのあったものを着用して下さい。着用の際は前面のバックルやファスナーを閉めて使用ください。バックルやファスナーを閉じずに使用した場合は正しく機能しません。**
レインウェア着用の際にも、レインウェアを着用した上に、ヒットエアーを着用して下さい。

警告 ⚠ **3.使用済のカートリッジボンベを取り替える際は、モデル指定のサイズ(容量)のヒットエアー製CO2カートリッジボンベを使用し下さい。封板(底部/ネジ部先端)に穴が開いていないことを確認してご使用ください。**

警告 ⚠ **4.ヒットエアー内蔵のパーツを分解しないで下さい。改造や不正使用などは製品の機能を著しく損なう恐れがあります。キーボックスのキャップ部分(ボンベが挿入される部分)を取り外さないでください。キャップがキーボックスに固定されていない場合、キーボックスは使用できず、万が一その状態でキーボックスを作動させると使用者が怪我をする恐れがあります。**

注意 ⚠ 5.ヒットエアーを着用する場合は、下に着ている衣類の中に、突起物、鋭利な物は入れないで下さい。
着用前には必ず取り外して下さい。(例:ピン留めした名札、バッジ、ペン、ネクタイピン等)作動時及び、作動後にも気室(エアバッグ)を傷つけ、正常に膨らまない場合があります。

注意 ⚠ 6.ヒットエアーの取扱時は、火気厳禁にして下さい。タバコ等が原因で、穴があいたり、破れたりした場合は使用できません。また、ヒットエアー製CO2カートリッジボンベを内蔵しておりますので、使用時、保管時ともに40℃以下での使用に限ります。高温になると破裂の危険があります。

注意 ⚠ 7.ヒットエアーに、針を通したり、エンブレム等の縫付けやアイロンの使用はおやめ下さい。内部の気室を傷つけ、正常に作動しない場合があります。エンブレム等の取付可能な位置は取扱店にお尋ね下さい。

注意 ⚠ 8.保管は、折り畳んだり、荷物の下に置くなどの負担のかかる方法は避け、ハンガーで吊りさげて保管して下さい。また、持ち運びや移動する際も同様です。保管場所は、高温多湿の場所は避けて下さい。

注意 ⚠ 9.ヒットエアーは、着用していれば必ず安全である、又、安全を保証するというものではありません。
また、膨脹した気室(エアバッグ)以外の場所は衝撃緩和効果はありません。

注意 ⚠ 10.ヒットエアーは、転倒や障害物との衝突などでの衝撃緩和により傷害のリスクを減らすものです。ねじれや過激な動きによる外傷については、いかなるプロテクターでも保護できませんのでご注意ください。いかなるプロテクターでも事故によるあらゆる衝撃から保護することは不可能であり、損傷に対する完全な保護を保証することはできません。

注意 ⚠ 11.鞍に取付ける伸縮ワイヤーが正しく取付けてあるか、各自チェックして下さい。不完全な場合は正常に作動せずエアバッグが膨らまない場合があります。

注意 ⚠ 12.キーボールに取付けられたワイヤーループ及び伸縮ワイヤーに、異常(ほつれ、さび、擦れ、切れ等)が確認された場合には、部品交換して下さい。

注意 ⚠ 13.ヒットエアー(エアバッグシステム)は洗濯、クリーニングはできません。

注意 ⚠ 14.着用の前には、各部の破損などを自主点検してから着用して下さい。お気づきの点等あれば、取扱店にご相談下さい。

注意 ⚠ 15.アクシデントなどで作動した場合、表面に傷・破損等が見当たらない場合でも取扱店、又は、当方にて点検(メンテナンスチェック)を行ってください。

注意 ⚠ 16.ヒットエアーが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検(メンテナンスチェック)を取扱店、又は当方に依頼(有料)して受けて下さい。

警告 ⚠ **17.キーボックスにCO2カートリッジボンベが取り付けられていない状態では、キーボールを絶対に引き抜かないでください。ボンベが装着されていない状態でキーボールを引き抜くと、キーボックスが破損してキーボールが再セットできなくなり、また、怪我の原因となる可能性があります。ボンベが装着されていない状態でキーボールを引き抜いてしまった場合は正規販売店にご相談ください。**

注意 ⚠ 18.ウエスタンサドル使用の際、乗馬又は下馬時にグリップ(ホーン)に注意してください。
乗馬と下馬に不安がある場合は、グリップ(ホーン)に引っかかることを避けるため、前面のバックル又はファスナーは乗馬後に閉じ、下馬前に開けて下さい。

## 5 CE規格

**欧州規格EN1621-4:2013に準拠したプロテクターの表示マークの説明**

CE規格取得会社名

CE規格取得モデル名

CEマーク

EN1621-4:2013による防護エリア(B)

正しいサイズのプロテクターを選ぶためのウエストテイストから肩までの距離を示す図です。
ウエストテイストは骨盤上部(腰骨後)から約50mm上の部分です(A)。
*身長178cmの場合は50mmです。
その他の身長は以下の表を参考にしてください。

1=レベル

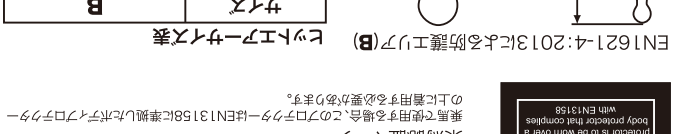
FB=背中に装着する背中のダメージを軽減するためのプロテクター

サイズ表示

洗濯表示

乗馬認証マーク
乗馬で使用する場合、このプロテクターはEN13158に準拠したボディプロテクターの上に着用する必要があります。

EN1621-4:2013によるプロテクター(B)




ヒットエアーサイズ表

| サイズ | B |
|---|---|
| XS | MAX 420mm |
| S | MAX 440mm |
| M | MAX 460mm |
| L | MAX 500mm |

身長別計測位置

| 身長(cm) | 148 | 152 | 156 | 160 | 164 | 168 | 172 | 178 | 182 | 188 | 192 | 196 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A 骨盤から上の距離(mm) | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 50 | 51 | 53 | 54 | 55 |



## キーボックスの再生作業

**1.再生に必要な工具を準備します。(写真1)**
未使用のカートリッジボンベと再生に必要な工具の六角レンチとセッティングボルトを準備します。

注意 ⚠ カートリッジボンベはモデル指定のサイズをご使用下さい。

**2.キーボックスにセッティングボルトを差し込みます(写真2)**
キーボックスの下面にある穴にセッティングボルトを差し込み、手で締めます。
きつくなったら六角レンチを使用下さい。
(ボルトを締めるとキーボールの穴が下へ移動します)

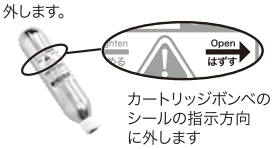
**3.六角レンチでキーボールの穴が中心にくるよう調節します(写真3)**
徐々に締めていき内側の金属穴を外側穴の中心に来るように調節します。キーボールの穴が中心に来たら、キーボールをセットします。

**4.キーボールをセットします(写真4)**
キーボールのリングを穴に深く押し込みます。リングと穴を平行にセットします。うまく入らない場合は、セッティングボルトを緩めたりリングを爪で押し込んだりします。

**5.セッティングボルトを外します(写真5)**
キーボールがセット出来たら必ず六角レンチでセッティングボルトを外します。

警告 ⚠ セッティングボルトを外し忘れるとエアバッグは膨らみません。

**6.使用済カートリッジボンベを回してキーボックスから外します。(写真6)**
カートリッジボンベの付根はネジになっていますので、使用済カートリッジボンベを写真6の様に回しながらキーボックスから外します。




カートリッジボンベのシールの指示方向に外します

写真1

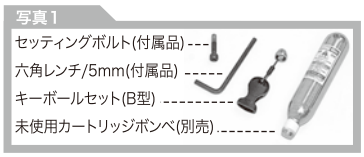



写真2

写真3

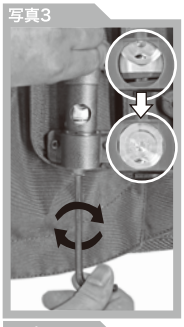


写真4

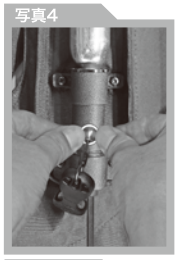
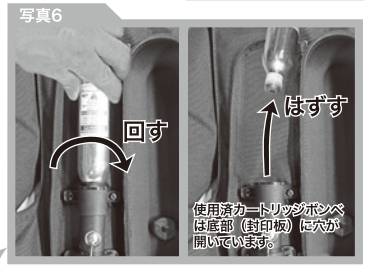


写真5

写真6




次ページへ



**エアバッグによる防護が提供されない場合**

○馬と共に、転倒し鞍と着用しているヒットエアーが一定の距離を離れない場合は作動・展開しません。
1.馬と衝突物が初動の衝突中。 2.鞍から離れない状態で転倒した場合。
○ヒットエアーは、膨張した気室以外の場所は、衝撃緩和の効果はありません。
○ヒットエアーを着用し、下馬する際にワッタッチリリースの取り外しを怠り、一定の距離離れて許容範囲を越えるエネルギーがかかった場合、キーボールが抜けてエアバッグが作動し膨らんでしまいます。誤操作に十分注意してください。
誤操作防止のためワッタッチリリースの取付け・取外しは、馬に股がった状態で行って下さい。
○使用済みカートリッジボンベを使用した場合、一度作動したカートリッジボンベは使用できません。サイズ(容量)の合った未使用のものと交換してください。

**作動時・展開後の注意**

○ヒットエアーは、衝撃による多メージを少しでも和らげるために作られたものであり、接触物の形状及び、衝撃の度合いにより、破損等も考えられます。
**着用したヒットエアーが作動・展開した状態になった場合、以下の点に注意してください。**

注意 ⚠ 1. ヒットエアーが作動の際、カートリッジボンベより炭酸ガスが各気室に充填され、ボンベ内の圧力が低下します。
ボンベの圧力が低下すると、ヒットエアーは、膨らんだ状態を保持することが困難になります。
ボンベの圧力が低下した状態で、ヒットエアーを使用しないでください。
2. ヒットエアーは、特に首を保護するため、膨らんだ際頭周りに圧力がかかります。
その為、着用しているヘルメットのあごひもが取れにくくなった場合があります。
3. 現場の状況に合せて慌てずに、脱装して下さい。
4. 事故等による現場が危険な場合、安全な場所へ避難してから脱装してください。
5. 瞬時に膨らんだヒットエアーは、身体に多少の圧力がかかります。徐々に炭酸ガスが抜けていくようになります。事故等により膨らんだ際、圧迫を受ける状態になってる落ち着いて行動してください。
6. 膨らんだ気室が、大きな衝撃や鋭利な障害物により破損した場合は、気室全体の炭酸ガスが直ぐに抜けてしまいます。

注意 ⚠ 7. 乗馬中において何らかの原因により誤って作動してしまった場合は、慌てず、すみやかに安全な場所へ馬を移動させ適切な処理をしてください。

注意 ⚠ 8. 作動の際、外傷の出来たヒットエアーは、取扱店や当方でメンテナンスプログラムの上、カートリッジボンベを新しいものに取り替えて再びご利用下さい。著しい外傷、部品破損の場合は、再生出来ない場合があります。

注意 ⚠ 9. 一度作動したヒットエアーを、やむをえずお客様が再生された場合は、以下の点に注意してください。
○ヒットエアーに外傷(キズ・穴)等がないを確認する。
○作動した時に、エアバッグが膨らんだ事を確認する。
○ボンベのカートリッジボンベは、モデル指定のサイズ(容量)で未使用のカートリッジボンベを確認する。
上記を確認した上で、問題がなければ、お客様の責任において再生してください。
異常がある場合は、正常に作動しない場合があります。